授業科目等の概要

（医療専門課程 作業療法学科）２０２３年度

実習施設			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医学総論 Introduction to Medicine	医学の基本理念や日本の医学制度について習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			文章の理解と表現Ⅰ Reading Comprehension and Written Expression Ⅰ	用語の読み方・意味、文章を理解するためのポイント等を習得します。	1前	30	2	○			○			○	
○			文章の理解と表現Ⅱ Reading Comprehension and Written Expression Ⅱ	文章を読み解く・まとめる・作文するためのポイントを習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			情報処理 Information Sciences	電子カルテ作成・発表のためWord・Excel・PowerPointの使用法を習得します。	1前	30	2			○	○			○	
○			心理学 Psychology	心理学の基本概念や青年・障がい者心理等について習得します。	1前	30	2	○			○			○	
○			人間関係論 Interpersonal Relationship	人間関係の基本概念や自己認識と協調関係等について習得します。	1前	30	2	○			○		○		
○			健康科学 Health Science	健康の定義、健康を維持するための条件、方法等について学ぶ	1前	15	1	○			○		○		
○			健康科学演習 Seminar in Health Science	作業療法現場で健康を維持する体の使い方等を習得します。	1前	15	1	○			○		○		
○			国際教育学 International Education	一般社団法人　京都府作業療法士会 京都リハビリテーション病院	2前	15	1	○			○			○	
○			研究法Ⅰ Reserch Method Ⅰ	研究の基本概念と意義や統計学等について習得します。	2後	15	1	○			○		○		
○			研究法Ⅱ Reserch Method Ⅱ	研究の基本概念と意義や統計学等について卒業論文の作成を通して習得します。	3前	30	2		○		○		○		
○			解剖生理学Ⅰ-1（内科系） Anatomy and Psysiology Ⅰ-1	循環・消化・代謝に関する器官と構造等について習得します。	1前	30	2	○			○			○	

○			解剖生理学Ⅰ-2（内科系） Anatomy and Psysiology Ⅰ-2	循環・消化・代謝に関する器官と構造・働きについて習得します。	1 後	30	2		○		○			○	
○			解剖生理学Ⅱ-1（神経系） Anatomy and Psysiology Ⅱ-1	脳・中枢及び末梢神経の構造等について習得します。	1 前	30	2	○			○			○	
○			解剖生理学Ⅱ-2（神経系） Anatomy and Psysiology Ⅱ-2	脳・中枢及び末梢神経の構造・働きについて習得します。	1 後	30	2		○		○			○	
○			解剖生理学Ⅲ-1（運動系） Anatomy and Psysiology Ⅲ-1	骨・関節・筋肉・靭帯の構造等について習得します。	1 前	30	2	○			○			○	
○			運動学Ⅰ KinesiologyⅠ	運動の基本概念と運動に関する器官と仕組みについて習得します。	1 後	30	2	○			○		○		
○			運動学Ⅱ KinesiologyⅡ	主に上肢・体幹の運動に関する器官と仕組みについて習得します。	2 前	30	2		○		○		○		
○			運動学Ⅲ KinesiologysⅢ	主に下肢の運動、バイオメカニクス、運動学習などについて習得します。	3 前	30	2		○		○		○		
○			人間発達学 Human Development	受胎から発達過程と各器官の発達の関連性などを習得します。	1 後	15	1		○		○			○	
○			リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	リハビリテーションの基本概念と一般的なリハビリテーションの流れなどを習得します。	1 後	15	1	○			○		○		
○			栄養学 Nutrition	健康を維持するための栄養とその指標、食事法などについて習得します。	1 後	15	1	○			○			○	
○			臨床心理学 Clinical Psychology	対象者の状況を理解・対応するポイントを心理学的観点から習得します。	1 後	15	1	○			○			○	
○			内科学 Internal Medicine	代表的な内科疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 後	30	2	○			○			○	
○			小児科学 Pediatrics	代表的な小児疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 後	15	1	○			○			○	
○			整形外科学 Orthopedics	代表的な整形外科疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 前	30	2	○			○			○	
○			神経内科学 Neurology	代表的な神経内科疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 前	30	2	○			○			○	

○			精神医学 Psychiatry	代表的な精神疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 後	30	2	○			○			○	
○			老年期学 Gerontology	老年期に多発する疾患の機序・評価と治療などを習得します。	2 前	15	1	○			○			○	
○			病理学 Pathology	病理学の意義と役割、代表的な疾患を病理学の観点から習得します。	2 前	15	1	○			○			○	
○			薬理学 Pharmacology	一般的な薬剤の役割、効用や副作用などについて習得します。	2 前	15	1	○			○			○	
○			臨床薬学 Clinical Pharmacology	臨床で多用する薬剤の効用と副作用などについて習得します。	2 後	15	1	○			○			○	
○			画像診断学 Medical Radiography	リハビリテーションで必要な画像診断のための基礎知識などを習得します。	2 後	15	1	○			○			○	
○			救急医学 Emergency Medicine	基本概念と一般的な救急法について、実践を通して習得します。	2 後	15	1		○		○			○	
○			リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	リハビリテーションの基本概念と関わる職種の概要などを習得します。	1 後	15	1	○			○		○		
○			チーム医療論Ⅰ Interprofessional Care Ⅰ	チーム医療の基本概念と作業療法士の働く分野、関わる職種の働きなどを実践を通して習得します。	1 後	15	1		○		○		○		
○			チーム医療論Ⅱ Interprofessional Care Ⅱ	他職種との関わりを通してチーム医療と作業療法士の役割について習得します。	2 後	15	1		○		○		○		
○			職業関連 Study of Work Rehabilitaion	職業復帰に関する制度と流れなどについて習得します。	2 後	15	1	○			○		○		
○			社会福祉論 Study of Social Welfare	作業療法に必要な社会制度などについて習得します。	2 前	15	1	○			○		○		
○			作業療法概論 Introduction to OT	作業療法の基本概念と歴史、関わる分野と制度の概要などについて習得します。	1 前	30	2	○			○		○		
○			基礎作業学Ⅰ Basic Occupational Therapy Ⅰ	作業療法の基本的な思考過程を身近な作業活動を通して習得します。	1 前	30	2		○		○		○		
○			基礎作業学Ⅱ Basic Occupational TherapyⅡ	作業療法の基本的な思考過程を作業療法場面で多用される活動を用いて習得します。	1 前	30	2		○		○		○		

○			作業療法管理学 Management of Occuational Therapy	臨床で必要な医療保険福祉の制度と作業療法の管理運営の必要性、方法論について習得します。	3 後	30	2	○			○		○		
○			作業療法評価学Ⅰ-1 Assessment of Occupational PerformanceⅠ-1	作業療法での評価の目的と意義、最も多用されている評価法などを習得します。	1 後	30	2	○			○		○		
○			作業療法評価学Ⅰ-2 Assessment of Occupational Performance Ⅰ-2	主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法を、実践を通して習得します。	1 後	30	2	○		○	○		○		
○			作業療法評価学Ⅱ-1 Assessment of Occupational PerformanceⅡ-1	主に認知・精神・発達障害分野で多用する評価法の知識を習得します。	2 前	30	2	○			○		○		
○			作業療法評価学Ⅱ-2 Assessment of Occupational PerformanceⅡ-2	主に認知・精神・発達障害分野で多用する評価法を実践を通して習得します。	2 前	30	2	○		○	○		○		
○			作業療法評価学Ⅲ-1 Assessment of Occupational PerformanceⅢ-1	主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法、解釈について実践を通して習得します。	2 前	30	2	○			○		○		
○			作業療法評価学Ⅲ-2 Assessment of Occupational PerformanceⅢ-2	主に身体障害分野で多用する評価法の知識と方法、解釈について実践を通して習得します。	2 後	30	2	○		○	○		○		
○			身体機能治療学Ⅰ（中枢系） Body Function and Therapeutics Ⅰ	中枢神経（脳・脊髄）疾患の特徴、評価、治療の流れなどについて習得します。	2 後	30	2	○			○		○		
○			身体機能治療学Ⅱ（運動・内部系） Body Function and Therapeutics Ⅱ	運動器（骨・関節・筋肉）や内部（心臓呼吸器疾患・腫瘍など）疾患の特徴、評価、治療の流れなどの知識を習得します。	2 後	30	2	○			○		○		
○			身体機能治療学Ⅲ-1（中枢系） Body Function and Therapeutics Ⅲ-1	中枢神経疾患の特徴、評価、治療の流れを実践的に習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			身体機能治療学Ⅲ-2（中枢系） Body Function and Therapeutics Ⅲ-2	中枢神経疾患の評価・治療の計画立案を実践的に習得します。	3 前	30	1			○	○		○		
○			身体機能治療学Ⅳ-1（運動・内部系） Body Function and Therapeutics Ⅳ-1	運動器や内部疾患の特徴、評価、治療の流れを実践的に習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			身体機能治療学Ⅳ-2（運動・内部系） Body Function and Therapeutics Ⅳ-2	運動器や内部疾患の評価・治療の計画立案を実践的に習得します。	3 前	30	1			○	○		○		
○			高次脳機能障害治療学Ⅰ-1 Higher Brain Dysfunction TherapeuticsⅠ-1	高次脳機能障害の特徴と評価・治療の流れを実践的に習得します。	3 前	30	2	○			○		○		
○			高次脳機能障害治療学Ⅰ-2 Higher Brain Dysfunction TherapeuticsⅠ-2	高次脳機能障害の評価・治療の計画立案を実践的に習得します。	3 前	30	1			○	○		○		

○			精神障害治療学Ⅰ Mental Disorders Therapeutics Ⅰ	精神障害の特徴と評価・治療の流れを実践的に習得します。	2 後	30	2	○			○			○	
○			精神障害治療学Ⅱ-1 Mental Disorders Therapeutics Ⅱ-1	精神障害の特徴と評価・治療の流れを実践的に習得します。	3 前	15	1	○			○			○	
○			精神障害治療学Ⅱ-2 Mental Disorders Therapeutics Ⅱ-2	精神障害の特徴と評価・治療の計画立案を実践的に習得します。	3 前	30	1			○	○			○	
○			老年期障害治療学Ⅰ Senile Disorder TherapeuticsⅠ	老年期傷害の特徴、疾患の特徴、評価、治療の流れなどについて習得します。	2 後	15	1	○			○		○		
○			老年期障害治療学Ⅱ-1 Senile Disorder TherapeuticsⅡ-1	老年期障害の特徴と評価・治療の流れを実践的に習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			老年期障害治療学　Ⅱ-2 Senile Disorder Therapeutics Ⅱ-2	老年期障害の特徴と評価・治療の計画立案を実践的に習得します。	3 前	30	3			○	○		○		
○			発達障害治療学 Developmental disability Therapeutics	老年期傷害の特徴、疾患の特徴、評価、治療の流れなどについて習得します。	3 前	30	2	○			○			○	
○			日常生活活動学Ⅰ Activities of Daily LivingⅠ	日常生活活動の基本概念と構成要素について習得します。	2 前	15	1	○			○		○		
○			日常生活活動学Ⅱ-1 Activities of Daily LivingⅡ-1	臨床で関わる機会の多い日常生活活動を分析する方法を習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			日常生活活動学Ⅱ-2 Activities of Daily LivingⅡ-2	各種の代表疾患の日常生活活動の分析する方法を実践的に習得します。	3 前	30	2		○		○		○		
○			福祉用具学 Social Welfare Equipments	福祉用具の意義と臨床で必要な制度、適合方法について習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			福祉住環境論 Welfare Living Environment Theory	住環境整備の意義と臨床で必要な制度、住宅設計の基礎知識などを習得します。	3 前	15	1	○			○		○		
○			義肢装具学演習 Prosthetics and Orthotics	義肢装具の意義と臨床で必要な制度、適合方法について習得します。	3 後	15	1		○		○		○		
○			作業療法総合演習　Ⅰ-1 Comprehensive Practice of OTⅠ-1	１年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。	1 前	30	2		○		○			○	
○			作業療法総合演習　Ⅰ-2 Comprehensive Practice of OTⅠ-2	１年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して習得します。	1 後	30	2		○		○			○	

○			作業療法総合演習　Ⅱ-1 Comprehensive Practice of OTⅡ-1	2年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。	2前	30	2		○		○			○	
○			作業療法総合演習　Ⅱ-2 Comprehensive Practice of OTⅡ-2	2年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して習得します。	2後	30	2		○		○			○	
○			作業療法総合演習　Ⅲ-1 Comprehensive Practice of OTⅢ-1	3年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。	3前	60	4		○		○			○	
○			作業療法総合演習　Ⅲ-2 Comprehensive Practice of OTⅢ-2	3年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して習得します。	3後	30	2		○		○		○		
○			作業療法総合演習　Ⅳ-1 Comprehensive Practice of OTⅣ-1	4年次に学習した基本の手技を応用できるよう実践を通して習得します。	4後	60	4		○		○			○	
○			作業療法総合演習　Ⅳ-2 Comprehensive Practice of OTⅣ-2	4年次に学習した基礎知識を応用できるよう実践を通して習得します。	4後	60	4		○		○			○	
○			地域作業療法学Ⅰ Community-based Rehabilitation and OTⅠ	地域リハビリテーションの基本概念と制度、関連職種などについて習得します。	1後	15	1	○			○		○		
○			地域作業療法学Ⅱ Community-based Rehabilitation and OTⅡ	地域リハビリテーションの作業療法士の関わりについて習得します。	2後	30	2	○			○		○		
○			地域作業療法学Ⅲ Community-based Rehabilitation and OTⅢ	地域リハビリテーションの作業療法士の関わりについて実践的に習得します。	3後	30	2		○		○		○		
○			臨床実習Ⅰ（見学実習） Clinical PracticeⅠ	臨床実習指導者の管理の下で、臨床で求められるマナーを習得し実際の作業療法を理解します。	1後	80	2			○		○	○		○
○			臨床実習Ⅱ（見学実習） Clinical PracticeⅡ	臨床実習指導者の管理の下で、医療・地域分野など様々な作業療法現場で実際の作業療法を理解します。	2後	80	2			○		○	○		○
○			臨床実習Ⅲ（見学実習） Clinical PracticeⅢ	臨床実習指導者の管理の下で、医療・地域分野など様々な作業療法現場で実際の作業療法を理解します。	3後	80	2			○		○	○		○
○			臨床実習Ⅳ（評価実習） Clinical PracticeⅣ	臨床実習指導者の管理の下で、作業療法の評価計画を立案し、実際の評価結果をまとめ、治療計画の立案までを体験しながら習得します。	3後	200	5			○		○	○		○
○			臨床実習Ⅴ（総合臨床実習） Clinical PracticeⅤ	臨床実習指導者の管理の下で、評価・治療を体験しながら習得します。	4前	400	10			○		○	○		○
○			臨床実習Ⅵ（総合臨床実習） Clinical PracticeⅥ	臨床実習指導者の管理の下で、評価・治療を体験しながら習得します。	4後	400	10			○		○	○		○

○			キャリア教育　演習Ⅰ Career Training Ⅰ	集団協議や面接を繰り返しながら職業人としての基礎を習得します。	1 前・後	30	2		○		○		○		
○			キャリア教育　演習Ⅱ Career Training Ⅱ	集団協議や面接を繰り返しながら職業人としての基礎を習得します。	2 前・後	30	2		○		○		○		
○			キャリア教育　演習Ⅲ Career Training Ⅲ	集団協議や面接を繰り返しながら職業人としての基礎を習得します。	3 前・後	30	2		○		○		○		
○			キャリア教育　演習Ⅳ Career Training Ⅳ	集団協議や面接を繰り返しながら職業人としての基礎を習得します。	4 前・後	30	2		○		○		○		
	○		※国際教育実習 Short Term Study Abroad Program	海外の作業療法を、海外研修を通して習得します。	2 後	45	1			○	○		○		
	○		※環境整備実習 Environmental Maintanance Training	障害者・高齢者に適した環境を整備することを、実践を通して習得します。	2 後	45	1			○	○		○		
合計				93科目	3460単位時間（　169単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目（不合格）が1科目以上あれば、原則進級・卒業できない。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	16～17週

（留意事項）
1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。